



南小だより



学校教育目標 自信をもち 自分の力を発揮する子

あけましておめでとうございます

令和7年が始まりました。寒風が吹く中、子どもたちは笑顔で登校できていました。冬季休業中の家庭での御支援ありがとうございました。

日本の正月の風物詩と言えは年賀状ですが、日本郵政(株)が発行する年賀はがきの枚数は、年々減少しています。ピークは平成15年の44億5936万枚。それから、多少の起伏を見せながら減少し続けており、令和7年分の発行枚数は10億7000万枚。4分の1以下です。近年の年賀状じまいをする方の増加、SNSの利用、はがきの値上がりとその理由でしょう。



我が家では、毎年200枚以上は年賀状を出していました。(最盛期は300枚。しかし、今年は150枚)よく続けてきたと思います。ここ20年ほどはパソコンのイラストソフトを使用しています。

妻が、ペンタブレットを使い干支や流行をモチーフに家族のイラストを描く。それに私が色をつける。冬休みに入ってから作業で結構大変です。元日には届かないことを承知で、大晦日の遅くまで右手にたこができるくらい書いていました。「パソコンなんて…」と眉をひそめる方もいらっしゃるかもしれませんが、結構手間がかかっているのです。

それでも年賀状作成をやめないのは、「日本の伝統文化がなくなってしまうのでは」という危機感よりも、私が手紙好きで、人とのつながりをなくしたくないという思いがあるからです。

(校長 杉山豊和)

*毎日の学校生活の様子を「小笠南小ニュース」で紹介しています。

(<https://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/ogasaminami/news.html>)

是非、御覧ください。

